

2023.4.24
No.63

UNIRITA ユーザ会ホームページ
<https://www.uniritauser.jp/>



UNIRITA Users' Group

ユニリタ ユーザ会 ニュース

CONTENTS

- 02 第39回UNIRITAユーザシンポジウム開催報告
- 04 第39回UNIRITAユーザシンポジウム表彰結果報告
- 06 第39回UNIRITAユーザシンポジウムハイライト
- 08 2023年度 研究テーマ及び研究概要一覧
- 10 UNIRITAユーザ会の主な活動内容/年間スケジュール
- 11 役員・代表の紹介
- 12 2023年度メンバ募集について





第39回

UNIRITA ユーザシンポジウム開催報告

2023年3月2日～4日
ヒルトン福岡シーホーク

第39回UNIRITAユーザシンポジウムを4年ぶりにリアルで開催しました。今回は、コロナ禍ということもありつつも、多くの方にご参加いただけるようサブ会場としてオンラインでの配信を行うハイブリッド開催となりました。

また、皆様の繋がりを深めていただけることを願い、キービジュアルに「絆」の文字を入れさせていただきました。

主会場となる福岡へは全国から97社295名、サブ会場のオンラインには75

社260名、合計555名と多くの方にご参加いただきました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

UNIRITAユーザ会定時総会はユーザシンポジウムに合わせてあらかじめWeb総会として開催し、各会員企業様の登録代表者の皆さまにご投票をお願いしました。皆さまのご協力のおかげで無事議案が承認されましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

1日目の全体会では、後藤会長による開会のご挨拶およびWeb総会の結果報告、シンポジウムの見所のご案内が行われました。その後、株式会社ユニリタ 代表取締役 北野裕行によるプレゼンテーション「「絆」アップデート ～新時代の繋がりを考えよう～」と題し、4つのつながりについてお話いただきました。



後藤会長

全体会の後は、パートナー様によるパートナーセッション、ユニリタグループ製品の事例発表、マネジメントセッション、ユニリタグループセッションと盛りだくさんのプログラムで、それぞれのセッション会場ではテーマに沿った熱いプレゼンテーションが行われました。多くの方が熱心に聴講されていました。

セッションの合間には、株式会社ロッテ様、カンロ株式会社様からたくさんのチョコレートや飴をご提供いただき、多くの



北野社長



マネジメントセッション 清水氏



マネジメントセッション 相川氏



事例発表 中田氏



講演会 山本氏



ロッテ様からの協賛品



カンロ様からの協賛品



情報交換会

お客様が喜んで手にされていました。
夕食を兼ねた情報交換会では、ご参加の皆様は久しぶりの対面ということもあり、積極的に名刺交換や情報交換を行われていました。

恒例の集合写真の撮影もあり、リアルならではの盛り上がりの中、翌日の研究発表へ向けて研究部会代表から研究メンバへ直接激励の言葉をかけていただきました。2日目は21グループの研究発表およびマネージャ層の研究グループ（1グループ）によるセッションが行われました。研究発表については聴講者の投票によってポイントが決まることもあり、発表者は緊張の面持ちで1年間の研究活動の集大成を発表しました。

昼の講演会ではサッカー解説者の山本昌邦氏に「一流選手から学ぶ目標達成のプロセス」というテーマで、実際の有名選

手の例を挙げながら、一流と呼ばれる選手に共通する特徴から、いかに目標を高く持ち、自身の成長につなげるかが大切かについてお話いただきました。聴講者にも大変参考となるお話でした。

表彰式では、優秀な評価を得た事例発表、研究発表の表彰式が華々しく行われました。

最優秀事例発表賞は、株式会社ロッテ様による「請求書印刷業務BPO まるっと帳票サービスで広がる未来」、最優秀



表彰式

活動賞は「IE08: メタバースは日本に浸透するのか」研究グループが受賞されました。（詳細はP.4-5をご参照ください。）

今回も多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

これもひとえにご参加いただいた多くのお客様と、多くのお力添えをいただいたパートナー様、事例発表企業様、協賛企業様のおかげです。誠にありがとうございました。



第39回UNIRITAユーザシンポジウム 表彰結果報告

研究グループ活動賞

最優秀活動賞

東日本情報活用研究部会

IE08:メタバースは日本に浸透するのか

新時代のコミュニケーション革命 ～ビジネスで使えるメタバースを探る～



城間 鈴奈 [エスアイエス・テクノサービス株式会社]
幸田 一生 [株式会社NSP]
新保 拓門 [株式会社エムアンドシーシステム]
芦田 知江 [株式会社エムアンドシーシステム]
佐々木 博亮 [MS&AD システムズ株式会社]
太田 悠樹 [株式会社オカムラ]

永尾 謙伍 [株式会社クエスト] ◎
中村 旭 [株式会社システムフロンティア] ◎
大内 愛理 [株式会社匠BusinessPlace] ◎
岩下 正吾 [株式会社リンクレア]
堀川 僚太 [株式会社ユニリタ]
佐藤 来美 [株式会社ビーティス]

受賞コメント 多くの聴講頂いた方に共感・高評価を得て、最優秀活動賞を受賞することができ感謝します。1年間の大変な研究活動でしたが、技術知識・人の繋がりを得ることができ、有意義な研究活動を行うことが出来ました。

印象に残ったこと いろいろなメタバースを体験し、メンバー内で利点・欠点の意見が分れることが多くあり、自由度の高い技術であることを実体験で感じる事が出来ました。ゆえに研究の焦点を決めるのに大変苦労しました。

優秀活動賞

西日本合同研究部会

GW04:SDGsを実現するITとは その時、どう動く?どう対応する? ～誰一人取り残さない災害対応の実現～



大越 歩美 [旭化成株式会社]
神谷 俊佑 [株式会社KYOSO] ◎
宮田 佳典 [株式会社CACオルビス] ◎
宮田 光貴 [第一工業製薬株式会社]
関谷 佑美 [ユニチカ株式会社]
竹花 凜 [株式会社リンクレア]
黒田 浩子 [株式会社ユニリタプラス]
合田 遥南 [株式会社ユニリタプラス]

受賞コメント この度は優秀活動賞を受賞でき、大変光栄です。今後の社会においても非常に重要となるSDGs×ITというテーマと1年間向き合い、私たち自身も大変勉強になりました。発表をご清聴頂きご投票頂いた皆様、本当にありがとうございました!

優秀活動賞

西日本合同研究部会

GW05:AIで変える次世代リモート会議 会議の不満、解決します! ～未来会議のAIアイデア～



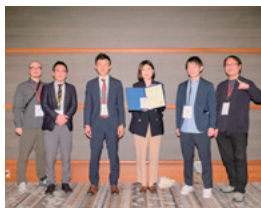
米澤 愛実 [株式会社コーユービジネス]
山本 真由 [株式会社コーユービジネス]
松下 祥子 [TDIシステムサービス株式会社] ◎
福光 純子 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
下塚 弘之 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
川西 慧 [日本精線株式会社] ◎
北方 一騎 [株式会社ユニリタプラス]
正村 樹介 [株式会社ユニリタプラス]

受賞コメント 優秀賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。チームのメンバーそれぞれが協力し合って得られた結果だと思っています。リモートの制約があるなか、研究をうまく進めることができたので良かったです。

優秀活動賞

東日本情報活用研究部会

IE05:PMBOK 第7版によるプロジェクト管理 不確実性が高まる世界で PJを成功に導くには ～愚直にPMBOK 第7版を読みました～



立野 毅 [出光興産株式会社]
鈴木 順也 [株式会社NSP]
田村 優季 [MS&AD システムズ株式会社]
今井 彩友実 [MS&AD システムズ株式会社] ◎
柳邊 利明 [SOMPO システムズ株式会社]
齊藤 裕子 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社]
山下 雅浩 [リコージャパン株式会社] ◎
加川 潤 [株式会社リンクレア]
泉川 真吾 [株式会社ユニリタ]
飯草 輝希 [株式会社ユニリタ]

受賞コメント 優秀活動賞をいただき大変光栄です。派手さも捻りも実験的要素もない研究ですが、真正面からPMBOK 第7版と向き合い、チームで活発な議論を重ねてきたことが本受賞に繋がったと感じています。ありがとうございました。

審査員特別賞

東日本情報活用研究部会

IE06:わかりやすいゼロトラストセキュリティ 初心者による初心者のための ゼロトラストセキュリティ 初心者がIPAを評価してみた



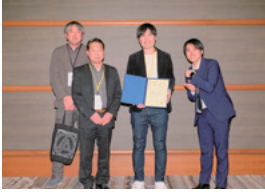
渡邊 光 [エスアイエス・テクノサービス株式会社]
永田 大征 [エスアイエス・テクノサービス株式会社]
高木 千賀子 [MS&AD システムズ株式会社] ◎
箕浦 一輝 [株式会社豊通シスコム]
近藤 知希 [ニッセイ情報テクノロジー株式会社] ◎
森 崇仁 [株式会社ユニリタ]
松平 遥 [株式会社無限]

受賞コメント 審査員特別賞でチーム名が呼ばれたときメンバー全員が歓喜に湧きました。ゼロトラストという難解なテーマに提出期限直前まで諦めず取り組み、発表直前までプレゼンを検討続けたチーム全員の努力の成果です!

西日本合同研究部会

審査員特別賞

GW02:IoTで実現する感染症対策
スマートウォッチで感染症対策
～ひとり仕事サポートします!～



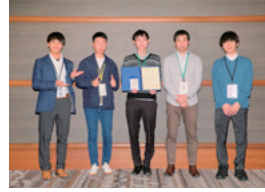
長谷川 信博 [株式会社KYOSO] 🕒
高取 知弘 [株式会社コーユービジネス]
大野 聖矢 [株式会社CACオルビス]
山岡 健司 [株式会社ノエビア] 🕒
川原 福正 [ユニチカ株式会社] 🧑
上本 直人 [ユニリタプラス株式会社]
北川 博之 [ユニリタプラス株式会社]

受賞コメント メンバそれぞれの努力と知見を活かしアウトプットを完成させ結果もこのような賞として頂けたことは何よりも嬉しく思います。

東日本システム運用研究部会

審査員特別賞

OE05:DX推進のためのクラウド管理実践
DX推進のためのクラウド管理
～初心者から一歩先へ～



築地 正浩 [ANAシステムズ株式会社]
芦本 陸 [情報技術開発株式会社] 🕒 🧑
李 攀 [株式会社THSJ] 🕒
杉浦 一久 [杜陵印刷株式会社]
四宮 芽衣子 [大樹生命アイテックノロジー株式会社]
関口 聖成 [株式会社ユニリタ]
海蔵 航太 [株式会社ユニリタ]

受賞コメント メンバ全員初参加で「楽しく活動する」が目標だったため、審査員特別賞に選ばれたことは想定外の喜びでした。クラウド管理の効果的な手法の研究から、DXに向けた個々の意識の提案まで、一つに繋がる発表になりました。

東日本システム運用研究部会

審査員特別賞

OE04:インフラ選定の判断基準
あなたの会社にとっての
インフラ移行先の最適解とは
～ひとすけくんに聞いてみた!～



市川 紀菜 [株式会社エムアンドシーシステム] 🧑
跡部 達也 [株式会社K-BIT]
小竹 巧 [ソニー生命保険株式会社] 🕒 🧑
荒木 貴宏 [大樹生命アイテックノロジー株式会社] 🕒
関根 靖夫 [株式会社タカインフォテック]
日下 航一 [株式会社ユニリタ]
鈴木 康弘 [株式会社ユニリタ]

受賞コメント 審査員特別賞を頂き、ありがとうございます。システムリプレイスにおいて、多くの方が抱えるであろう課題の解決を目標に、研究活動をして参りました。少しでもお役に立つことができれば幸いです。

東日本情報活用研究部会

審査員特別賞

IE03:AIOpsによる業務改革
AIOpsの可能性
～ど素人がAIで運用業務を改善できるか～



津田 哲昌 [出光興産株式会社]
水島 康行 [MS&ADシステムズ株式会社] 🧑
佐藤 咲 [SOMPOシステムズ株式会社] 🕒 🧑
小宮 秀平 [株式会社リンクレア] 🕒
小久保 暁人 [株式会社ユニリタ]
渡邊 雄貴 [株式会社ユニリタ]

受賞コメント 初めはどういう研究になるのか想像もつかなかった中で、最終的に評価され受賞できたことが嬉しいです。「伝える」ための発表の構成や仕方がとても大事なことも実感でき、密度の濃い素晴らしい一年間でした。

事例発表賞

最優秀事例発表賞

株式会社ロッテ
中田 登 様
製品名:
まるっと帳票クラウドサービス
請求書印刷業務BPO
まるっと帳票サービスで
広がる未来



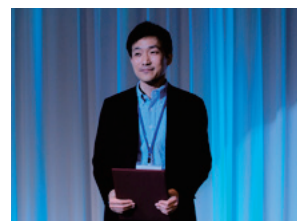
優秀事例発表賞

富士フイルムメディカル株式会社
千々木 宏一 様
製品名:Blue Sheep
入り口をひとつに
～構成管理Blue Sheep導入による
サービス強化と商談機会創出～



優秀事例発表賞

YKK AP株式会社
金子 一幸 様
製品名:A-AUTO
レガシーマイグレーションの
実例とA-AUTOを
使い続ける理由



シンポジウムハイライト

01

会場到着

4年ぶりのリアル開催を見守るかのような春うらの日、唐人町駅から送迎バスで移動し、無事会場であるヒルトン福岡シーホークに到着！会場は福岡ソフトバンクホークスのホームグラウンドである福岡 PayPay ドームのすぐ隣です。



02



全体会

受付では申し込み時に発行されたチケットのQRコードでチェックイン。今年は感染症対策のため対象者を研究部会メンバの方を中心としていたこともあり、全体会会場に向かうと、広い会場にゆったりと着席。後藤会長の挨拶よりついにシンポジウムがスタートしました。



パートナーセッション・事例発表・マネジメントセッション

パートナーセッションは3社、事例発表は6社、マネジメントセッションは2社に登壇いただきました。各会場とも参加人数が多く盛況な初日でした。

04

情報交換会

4年ぶりということもあり、リアルでお会いするのは初めてという方も多く、沢山の方々が名刺交換している場面を見ました。発表を明日に控え、緊張しつつも、ワクワクされている方が多かったようです。良い結果を残したい、最優秀賞が目標！と意気込んでいる方もいらっしゃいました。



05

研究発表

いよいよ一年間の集大成の発表です。発表者だけでなく、研究メンバも緊張しているのが伝わってきました。どの研究グループも、自分たちの研究の成果を聴きにきてくれた皆さんに伝えようという熱い思いが伝わる発表でした。



06

講演会

サッカー解説者の山本昌邦さんにご講演いただきました。盛り上がりを見せたワールドカップから日が浅いこともあり、皆様お話に聴き入っていました。



07

表彰式

発表を終えた開放感に包まれながら楽しく料理を食べ、岡本真夜さんの歌声に癒やされました。表彰式では受賞グループが発表されるときに、祈るように聞いていた方が印象的でした。最優秀賞を受賞したIE08の皆様おめでとうございます！



受賞 インタビュー

受賞グループは一様に盛り上がっていました。受賞できなかったグループも、やりきった！と達成感を持たれていた方が多かったようです。

＼ 最優秀賞を受賞したIE08 グループへのインタビュー ＼

Q. 受賞の要因は？

A. 「プレゼン力」と「プレゼン資料を作りきった」ことです。メンバの人数が多い中、役割分担できた面は良かったです。半面、意見がまとまらないこともありましたが、そんな紆余曲折ありながらも最後までやり切ったことが良かったです。また、一貫して楽しんで参加できました。どのグループよりも参加することを楽しんで研究会活動ができたと思います。



研究テーマおよび研究概要一覧

UNIRITA ユーザ会では今年度も活発に研究部会活動を行っていただくべく、研究グループメンバーの募集を行います。地域ごとに旬なテーマをご用意して会員企業様のご参加をお待ちしております。

お申し込みはこちら



https://
www.uniritauser.jp/
group-apply/

東日本地区

情報活用



これからのIT

参加者は情報システム部やITベンダーのマネジメント層です。ITの課題に対する最新技術による解決策や導入実績を提供し合い、会社を離れた情報交換の場を提供します。また、ユーザ会に参加する研究部会メンバーへの支援を行います。

情報活用

データ活用による
カスタマーサクセス

カスタマーサクセス、直訳すれば顧客の成功ですが、その成功は企業それぞれ違います。ですが、共通するのはデータを活用することです。本研究グループでは、データ活用によるカスタマーサクセスについて研究します。

情報活用

Web3.0をビジネスで
活かすには

Web1.0、Web2.0と来て、今Web3.0という言葉は、一般的な言葉として広まっていますが、Web3.0を利用した技術はすでに利用されています。ビジネスでWeb3.0を活かすにはどうしたらよいか？本研究グループでは、Web3.0をビジネスで活かすには、について研究します。

情報活用

HRTechで変わる
IT人材調達と育成

ビジネスにおける人事領域に活用できるHRTechとは何か？すでにHRTechはありますが、課題は何か？これからできることは何か？本研究グループでは、HRTechで変わるIT人材調達と育成について研究します。

情報活用



サーバーレスコンピューティングで企業はどう変わるか？

クラウドを利用する企業は多いですが、運用費用の問題やベンダー依存などメリットもある反面課題もあります。上手にサーバーレスコンピューティングしていくには、どうすべきか？企業はどう向き合うべきか？本研究グループでは、サーバーレスコンピューティングで企業はどう変わるか？について研究します。

情報活用



DX時代のビジネスアナリスト

社内にて、ビジネスアナリストと呼ばれる人を育成していくには何が必要か？ベンダーに依頼する際はこういった観点でチェックすればよいのか？企業内で必要とされるビジネスアナリストの育成、または利用法？本研究グループでは、DX時代のビジネスアナリストについて研究します。

情報活用

属人化を解消する技能伝承
とリスクリソク

各企業において色々な意味で技能を伝承するという課題があります。そこには属人化ということも含まれます。これからITを使うことでのリスクリソクをしながら技能を伝承していくにはどうしたらよいか？本研究グループでは、属人化を解消する技能伝承とリスクリソクについて研究します。

情報活用



データファブリックの必要性

様々なデータを一元管理する技術であるデータファブリックが注目されています。企業において、どのようなケースでデータファブリックが必要となるか、どのようにデータファブリックを構築、運用すべきかという方法を探ります。本研究グループでは、データファブリックの必要性について研究します。

情報活用



これからのマーケティング

各企業においてIT技術を活用したデジタルマーケティングの重要性が高まっています。今後企業のマーケティング活動において、どのような取り組みが必要になるでしょうか。本研究グループでは、これからのマーケティングについて研究します。

情報活用



量子コンピュータの可能性

量子力学の原理を使う量子コンピュータが注目されています。様々な企業が開発を競い合っており、将来的な活用が期待されています。量子コンピュータが実用化されるとどのような未来が待っているのか。また、企業にどのような影響を与えるのか。本研究グループでは、量子コンピュータの可能性について研究します。

情報活用

わかりやすいゼロトラスト
セキュリティ

何も信用しないことを前提に対策を行うゼロトラストセキュリティという新しい考え方が提唱されました。DXの推進やリモートワークの普及により、近年注目されています。本研究グループでは、ゼロトラストセキュリティを実装した時の課題や解決策など何かを研究します。

システム運用



運用管理事例

情報システム部やITベンダ、メーカーのマネジメント層の方を対象とします。ITの課題に対する最新技術による解決策や参加企業を含めた様々な業態の導入事例、実績を相互に提供し合う、情報交換の場を提供していきます。本研究グループは、複数年参加を基本とし、研究や発表というスタイルを取りません。

システム運用



メインフレームマイグレーション

メインフレームを活用する企業は、今後の必要な対策を検討しています。取り組み事例、実際に取り組んだ際の課題、問題から、これから取り組むシステム担当者が必要とすべき、計画前に検討すべき必要な対策を検討します。本研究グループでは、脱メインフレームを達成するため、にどんな対策を取るべきかを研究します。

システム運用

パブリッククラウドの
システム運用業務

パブリッククラウドを積極採用している企業は、パブリッククラウド特有の運用課題を解決しています。パブリッククラウドの運用標準化を目指し、パブリッククラウド活用に必要なシステム運用業務の取り組みを検討します。本研究グループでは、パブリッククラウド活用に必要なシステム運用業務について研究します。

システム運用

SDGs テックを用いた
IT部門の社会貢献

ESG Indexの組入銘柄の企業は、SDGs テックに取り組んでおり、その内容をIT部門は参考にすべきです。今後、多くのIT部門がSDGs テックを支援するためにどんな取り組みが有効かを検討します。本研究グループでは、SDGsの取り組みとして、IT部門が支援するSDGs テックについて研究します。

システム運用

クラウドサービス
アップデート運用

システム障害の一つの原因として、クラウドサービスのアップデートがあげられます。クラウドサービスに必要なアップデート運用のルールや手順について検討します。本研究グループでは、運用部門が実現するクラウドサービスのアップデート運用について研究します。

研究活動の流れ【主な活動とスケジュール】 予定は変更される可能性があります。

5月

春の全体会

研究活動のキックオフとして全国で春の全体会を開催します。全体に対してオリエンテーションを行ったあとは、グループごとに分かれて初回の会合を行います。これから1年間、一緒に研究活動を進めていくメンバー、コーディネーターと初めての顔合わせです。自己紹介や今後の進め方などを決めていき、研究活動がスタートします。

	開催日
東日本	2023年5月26日(金)
中部	2023年5月23日(火)
西日本	2023年5月24日(水)
九州	2023年5月25日(木)

7月

合宿

日帰りや1泊2日での合同合宿を開催します。何にも邪魔されない環境で研究テーマの深掘りや議論に集中でき、メンバーとの親睦も深まりますのでぜひご参加ください。

注意事項

研究部会の参加者は以下の参加条件を満たす必要があります。
・UNIRITA ユーザ会会員であること。

ユーザ会主催のイベントは対面開催となりますが、研究会活動についてはオンラインとなる場合があります。以下の条件もご確認ください。
・カメラ、スピーカー、マイクが搭載されたPCもしくはタブレット端末を持っていること。
・インターネット環境が整っていること。
(会社から提供されているルーターや通信手段が使用できること)

対象  部門長  マネージャ  一般・若手・中堅

情報活用 情報活用研究部会

システム運用 システム運用研究部会

合同 合同研究部会

情報活用・システム運用 情報活用・システム運用研究部会

システム運用

障害未然防止のための予兆検知

システム障害に至る前にAI、等の機械学習により、未然防止(予兆検知)を予測する取り組みにチャレンジし、企業で実現可能な予兆検知の活動を検討します。本研究グループでは、障害未然防止を目的としたシステム運用部門が実現する予兆検知運用について、具体的なAIツール、システムログ等を活用し、研究します。

システム運用

システム運用業務のスペシャリスト像

システム運用業務は多様化しており、システム運用担当者へのスキル要求も変化します。システム運用担当者が参考にすべきシステム運用担当者のスキル標準を検討します。本研究グループでは、システム運用業務に携わるシステム運用担当者が今後参考にできるスキルセットを纏め、あるべき人物像について研究します。

システム運用

システム運用業務のテレワーク実現

テレワークによるシステム運用業務の実現が進んでいます。テレワーク可能な業務整理、課題や考慮点、必要な設備等を確認し、テレワークを定着させる対策について検討します。本研究グループでは、業務継続性や働き方多様性の実現の観点から、システム運用部門が実現するテレワークの進め方について研究します。

システム運用

ITIL4活用

ITIL4をもとに現在のシステム運用業務について総点検を行い、具体的にITIL4を参考にした最新のシステム運用業務への変更見直しを検討します。本研究グループでは、最新のITILフレームワークを活用し、システム運用部門のシステム運用業務の総点検と適用方法、効果等について研究します。

システム運用

システム運用業務の引継ぎ

システム運用業務の引継ぎは、正解のない取り組みとなっています。引継ぎのミスで業務停止は許されません。引継ぎ結果にコミットするための引継ぎガイドライン、手順やチェック方法について検討をします。本研究グループでは、システム運用業務の引継ぎの進め方と成果検証について研究します。

中部地区

情報活用

今後求められるIT技術、ITエンジニアの姿を考察

デジタル化やデータの利活用が進む中、ITエンジニアに求められる知識やスキルも高度化、複雑化しています。私たちが更なる活躍をしていくために、今後求められるIT技術やITエンジニアの姿を研究していきます。

システム運用

貴方が考える「運用業務の将来、必要となるスキル」とは

ITサービスが次々にリリースされる昨今、運用の効率化もますます求められています。アプリやインフラ担当者から見たシステム運用への想いも汲み取りつつ、今後のシステム運用の未来や運用業務に必要なスキルについて研究します。

西日本地区

合同

業務変革とIT活用

情報システム部やITベンダーのマネジメント層を対象に、企業を超えた情報交換を行います。IT全般に関する問題や課題、活用方法を共有し、解決策を探ります。本研究グループ以外の研究部会参加メンバーへのフォローも行います。複数年参加を基本とし、研究や発表というスタイルを取りません。(2022年度GW01から継続)

合同

職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術

わたしたちの職場は「誰もが率直な意見や素朴な疑問を言い合える状態」になっているでしょうか? 「心理的安全性」を高めるためのコミュニケーションの方法について、最新ITの活用、話し方や会議の改善、雰囲気の良いチーム作りなどあらゆる観点から研究します。

合同

ESG推進に向けたIT部門の取り組み

近年、持続可能な社会づくりのために、あらゆる企業にESG(環境・社会・企業統治)経営が求められてきていますが、IT部門では具体的にどのような取り組みができるのでしょうか。環境問題や社会課題に関わるESGを通じて、IT部門が社会に貢献できる取り組みについて研究します。

合同

AIを活用した自動化の実現

最新のAIなどを活用して自動化することを目的としています。現在、デジタル化は急速に進化し、デジタイゼーションからデジタルイゼーション、DXへと移行しています。ハイパーオートメーション、AIOpsなどを活用することで、事業部門やIT部門において業務改善や生産性の向上に活用できるか研究します。

合同

メタバースと社内活用

近年、3次元の仮想空間となる「メタバース」は、マーケティングやイベントなどの様々なビジネスシーンで活用されはじめていますが、社内業務やコミュニケーションにおいてどのような効果が期待できるのでしょうか? 今後の業務改善やコミュニケーションの変革に向けて、メタバースを活用する方法について研究します。

合同

DX組織を前提とした技術者のアップデートを考える

DX組織を作るには、組織の変革、技術の変革、そして技術者の変革が必要です。本研究グループでは、技術者の採用や委託、育成方法について議論を行います。自分たちがDX組織に必要な技術者にアップデートするための方法を研究します。

合同

マルチクラウドにおけるITIL4

ITIL4は、DX時代においてIT部門が中心となってDXを推進するための教科書となっています。マルチクラウドがスタンダードとなり、その管理も必要となります。本研究グループでは、DX時代のマルチクラウドにおけるITIL4の活用と効果について研究します。

九州地区

情報活用・システム運用

メタバース活用で変わる業務

3次元の仮想空間(バーチャル空間)となる「メタバース」は、様々なビジネスシーンで活用され、メタバース市場の規模は拡大傾向にあり、将来的にも成長が期待されます。メタバースを活用することによって、私たちの業務はどのように改善され変革していくのかについて研究します。

9~10月

グループリーダ会議

各グループのリーダが集まり、研究活動の進捗を報告します。他グループのリーダや代表・副代表と意見交換することより、今後のグループ活動をよりよくしていきましょう。

12月

冬の全体会

春の全体会から7ヶ月、それぞれの地区の全グループが一堂に会します。各グループから研究活動の進捗報告、3月のシンポジウムに向けた発表講習などを実施し、研究活動のまとめに臨みましょう。また、全体会後の懇親会では、シンポジウムでの発表枠の抽選も行います。

1~2月

発表練習会

研究活動も大詰めとなり、シンポジウムに向けた発表練習会を行います。他グループや幹事・代表・副代表を前に発表練習を行い、フィードバックを得てさらに磨きをかけていきましょう。

3月

シンポジウム

1年の活動の集大成!九州で開催するシンポジウムで研究発表を行います。有終の美を飾るのは一体どのグループでしょうか!?

UNIRITA ユーザ会の主な活動内容

■研究部会活動

参加ユーザの自主的な運営で、地区ごとにテーマを設定しテーマごとの研究グループが1年間研究活動を行います。



■ユーザシンポジウム

1年間のユーザ会活動の締めくくりとして、研究部会活動発表、ユーザ各社の事例発表の場として、「ユーザシンポジウム」を開催しています。



■情報交換活動

【ITゼミナール】

各地区の方を中心に、会員企業の階層ごとに最新技術情報のテーマを設定し、幅広い分野での意見交換・討議の場として開催しています。



【マネジメント研究会】

全国の部門長クラスの方々を対象に、マネジメントの立場から見た情報システムにまつわる最新的话题を幅広く取り上げ、情報交換を中心に開催しています。



■〈UNIRITA ユーザ会〉2023年度年間スケジュール(2023年4月～2024年3月)

		2023年 4月	2023年 5月	2023年 6月	2023年 7月	2023年 8月	2023年 9月	2023年 10月	2023年 11月	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月
幹事会・ 研究部会運営会議 等		運営会議 4/21(金)							運営会議 11/8(水)				
				幹事会 6/9(金)					幹事会 11/22(水)			幹事会 2/2(金)	
								意見交換会 10/13(金)					
東日本	情報活用研究部会				合宿								ユーザ シンポ ジウム
	システム運用研究部会		春の全体会 5/26(金)		合宿					冬の全体会			
	情活グループリーダ会議						9/13(水)						
	運用グループリーダ会議							10/4(水)					
中部	情報活用研究部会												
	システム運用研究部会		春の全体会 5/23(火)		合宿					冬の全体会			
	合同研究部会												
	合同グループリーダ会議							10/6(金)					
西日本	合同研究部会		春の全体会 5/24(水)		合宿					冬の全体会			
	合同グループリーダ会議						9/14(木)						
九州	情報活用システム運用 研究部会		春の全体会 5/25(木)		合宿					冬の全体会			
	グループリーダ会議						9/14(木)						

役員・代表の紹介 2023年度のUNIRITAユーザ会役員・代表の方々をご紹介します。

役員

会長

後藤 聖央

ソニー生命保険株式会社
執行役員 IT デジタル戦略本部
本部長 兼 同本部
グループウェア開発部 統括部長



幹事

河村 優司

さくら情報システム株式会社
常務執行役員
(エスアイエス・テクノサービス株式会社
代表取締役社長)



幹事

山口 公晃

京葉ガス情報システム株式会社
取締役企画開発部長



幹事（監査担当）

井上 勝

第一生命情報システム株式会社
経営企画部 担当部長
兼 経営企画 グループ長



幹事

田中 久子

SOMPO システムズ株式会社
常務執行役員 ITサービス
本部長



幹事

深沢 修

旭化成アミダス株式会社
デジタルパートナー事業部
コーポレート IT グループ グループ長
兼 DX 推進センター センター長



幹事

中俣 幸二

株式会社リコー
デジタル戦略部 コーポレート IT
統括センター IT インフラ統括室
クラウド推進グループ



幹事

澤井 隆慶

出光興産株式会社
デジタル・ICT 推進部 次長



幹事

廣瀬 真一

ANA システムズ株式会社
上席執行役員



幹事

水野 泰宏

日東工業株式会社
執行役員 DX 統括部長



会計幹事

野村 剛一

株式会社ユニリタ
取締役 上席執行役員
プロダクトサービス事業本部長
兼 メインフレーム部長



東日本地区代表

情報活用研究部会代表

田中 豊久

株式会社匠 BusinessPlace
代表取締役社長



中部地区代表

情報活用研究部会代表 合同研究部会代表（兼任）

山口 聡

株式会社ダリヤ
情報システム部 次長



西日本地区代表

合同研究部会代表

坂元 弘樹

株式会社 CAC オルビス
事業推進本部 DX 推進室 室長



システム運用研究部会代表

寺門 美紀

MS&AD システムズ株式会社
基盤運用第一部 サーバネットワーク
グループ 上級マネージャー



システム運用研究部会代表

杉本 浩彰

株式会社トヨタシステムズ
ファイナンスIT本部 ファイナンス企画部
推進統括G 主幹



九州地区代表

情報活用・システム運用 研究部会代表

永浦 秀敏

株式会社インフォセンス
システムインテグレーション事業本部
システムインテグレーション第三部長



IT ゼミナール

代表

中俣 幸二（兼任）

株式会社リコー
デジタル戦略部 コーポレート IT
統括センター IT インフラ統括室
クラウド推進グループ



マネジメント研究会

会長

澤井 隆慶（兼任）

出光興産株式会社
デジタル・ICT 推進部 次長



副会長

山口 公晃（兼任）

京葉ガス情報システム株式会社
取締役企画開発部長



2023年度 研究メンバ募集について

UNIRITA ユーザ会は、様々な業種、様々なIT環境のメンバが集まる人脈形成の場であり、また、他のユーザ会と異なる大きな特徴として、1年を通じた研究活動による技術力向上をテーマにした活動を中心としていることがあげられ、人材育成の場としても活用していただけます。

UNIRITA ユーザ会では2023年度の 研究部会メンバを募集しております。

研究部会のキックオフとなる春の全体会は5月23日(火)より全国で順次開催いたします。研究メンバ同士の顔合わせの場となるだけでなく、1年間の研究内容の方向性が決定される場でもありますので、ぜひ、春の全体会からのご参加をお勧めいたします。



【 ご参加者・ご参加者上司の声 】

ご参加者の声

- 普段あまり交流のない分野の方とお話できる貴重な機会でしたので、いい経験になりました。
- 通常業務もしながらの研究活動は正直きつかったですが、無事発表を終え振り返ると楽しかったなと感じます。

ご参加者上司の声

- 他社交流も図れ、社外の人脈形成にも繋がったと思うので大変良かった。
- 非常に良い刺激を受けていたことに驚きました。他流試合ならではの面白さや熱量を感じ取ることができました。

【 お問い合わせ 】

UNIRITA ユーザ会事務局

E-Mail : usergrp@unirita.co.jp

TEL : 03-5463-6412

(受付時間：平日 9:30 ~ 17:00)

【 非会員の皆様へ 】

UNIRITA ユーザ会入会のご案内

ユニリタグループが提供するソフトウェア・プロダクトおよびサービスを利用している企業・団体様は随時入会できます。年会費は30,000円/社です。(事業年度1月~12月) ユーザ会が提供する活動での会費は基本的にはかかりません。入会の手続きに関しましては、ユーザ会ホームページをご確認いただくか、ユーザ会事務局までお問い合わせください。

お申し込み・詳細はユーザ会ホームページをご覧ください。
2023年度の全国の研究テーマの詳細を公開しています。

▶「ユニリタユーザ会」で検索！
<https://www.uniritauser.jp/>



編集後記

事務局より

第39回 UNIRITA ユーザシンポジウム in ヒルトン福岡シーホーク

福岡開催のシンポジウムは、2019年度に中止して以来、4年ぶりとなりました。事務局の体制も一新し、オンライン配信も行うなど、新たな試みをしたシンポジウムとなりました。至らぬ点もあったかとは存じますが、皆さまに支えられ、無事に終えることができましたことこの場を借りて御礼申し上げます。さて、月日が経つのは早いもので、あっという間に2023年度の研究メンバ募集が始まりました。研究活動は、5月の春の全体会からキックオフとなり始動します。今年シンポジウムで味わった感動を、もう一度味わってみませんか？
また来年、皆さまに会えることを楽しみにしております。



UNIRITA Users' Group

UNIRITA ユーザ会ニュース No.63 発行日：2023年4月24日

編集発行：UNIRITA ユーザ会事務局 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟29階 株式会社ユニリタ内
E-Mail : usergrp@unirita.co.jp TEL : 03-5463-6412 FAX : 03-5463-6392 URL : <https://www.uniritauser.jp/>